

講義科目名称： 地球環境論

授業コード：

英文科目名称： Earth's Environment

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1	2	選択
担当教員			
相羽 洋子			
月5			
添付ファイル			

科目の概要	地球環境問題は相互関連性が強い現象である。環境問題は日本だけの問題ではなく地球全体の未来につながる大きな問題であり、地球環境の危機に対応するためには持続可能な社会を構築することが必要である。様々な地球環境問題を理解し、問題に向き合うための考え方や解決するための社会変革について講義する。
授業の内容	<p>第1回 オリエンテーション、地球環境論とは ・授業の進め方の説明 ・地球環境論を学ぶ目的</p> <p>第2回 地球環境の危機 現在起こっている地球の変化</p> <p>第3回 社会変革に向けた取り組み 地球環境の危機に関する世界の取り組み</p> <p>第4回 地球温暖化 地球温暖化による影響と対策</p> <p>第5回 気候変動の影響 気象災害の多発など、気候変動による環境問題</p> <p>第6回 日本で起こっている環境問題 身のまわりの自然で起こっている環境の変化および問題点</p> <p>第7回 東日本大震災がもたらした環境問題 東日本大震災によってもたらされた環境問題と対策</p> <p>第8回 生活と化学物質 生活の中で欠かせない化学物質による影響</p> <p>第9回 循環型社会の形成 ごみの処理問題、資源のリサイクル</p> <p>第10回 生物多様性の保全 生物多様性に関する環境問題、生物多様性を守るための対策</p> <p>第11回 持続可能な社会 持続可能な社会づくりに向けた地域の資源</p> <p>第12回 環境を考えた持続可能な行動 環境を考えた意識の変化</p> <p>第13回 環境を守るための取り組み 資源の循環、自然資源に関する取り組み</p> <p>第14回 ライフスタイルの変革 地球環境を守るための「環境と社会に良い暮らし」</p> <p>第15回 まとめ 地球環境問題に向き合うために学んだ内容をまとめる。 授業内試験</p>
学習到達目標	地球規模で起こっている環境問題について学び、自分の生活が環境問題につながっていることを理解する。環境問題に取り組むための考え方について知り、環境を考えた持続可能な行動の考え方を学ぶ。
授業の方法	講義を主として、グループワーク、発表を行う。
成績評価の方法	定期試験（レポート含）（50%）、授業への参加態度（40%）、出席状況（10%）により総合的に判断する。
教科書・テキスト	必要に応じてプリントを配布する。
参考書	環境省編「環境白書」「図で見る環境・循環型社会・生物多様性白書」
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	新聞・ニュースなどを通じて、環境問題に関する社会的な話題に興味を持つこと。
履修上の留意事項	居眠り、携帯電話・スマートフォンの操作、他の科目の勉強、等は厳禁とする。
オフィスアワー	月曜日 3限、4限
課題に対するフィードバックの方法	レポートの返却

実務経験	薬剤師、衛生工学衛生管理者、衛生管理者
その他	